



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222) 7207 番

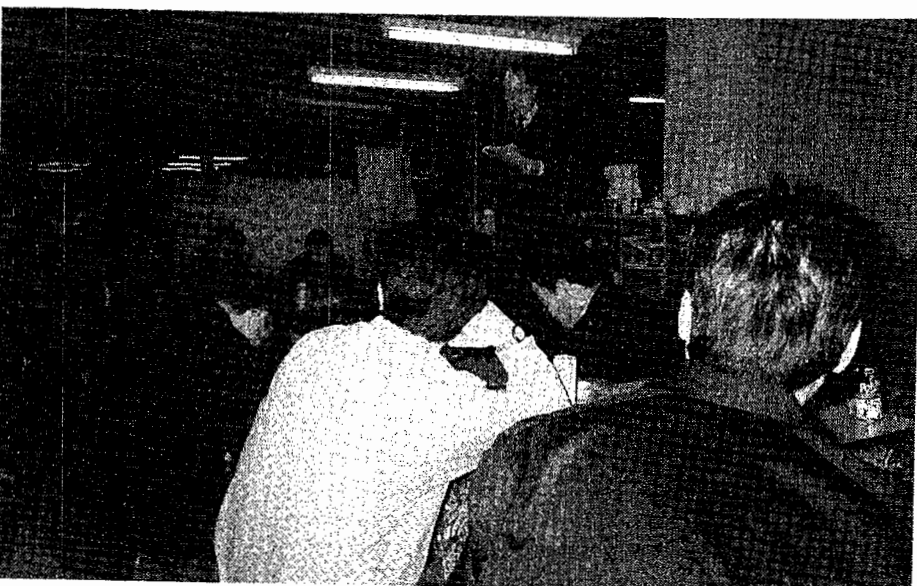
96, 1, 2 頁 4331

# 鴨川支部 元気に旗開き



一月十八日、十九日の両日、昨年、勝浦運転区廃止攻撃をね返して結成された鴨川支部の新年会・旗びらきが元氣一杯に開催された。  
新年のあいさつにたった照岡支部長は、「鴨川支部は勝浦支部の伝統を受け継いで結成された。結成して一カ月半、まだ名前だけの支部かもしれないが、今年は名実ともに動労千葉の先頭にたつような支部に飛躍したい」と抱負を表明。大きな拍手がまきおこった。  
新年会には、水野・中村両議員もかけつけ、和氣あいあいのうちに、新たな年に大きくはばたくことを誓いあった。

# 佐倉支部



佐倉支部は、一月十九日、七時半より、第一六回支部定期大会を開催し、向う一年間の闘う方針、とりわけ、貨物合理化、基地統廃合と闘うことを確認した。  
大会は、議長に能勢君を選出し、はじめにあいさつに立った宮内支部長は、「総武線から京葉線への貨物輸送の変更が出され、佐倉機関区も基地の統廃合が噂されている。われわれは、一致団結してこれと闘わなければならぬ。新潟ではJR東労組が分裂した。分割・民営化の

貨物合理化・基地統廃合と  
全力で闘う方針を確立!

第十六回定期大会開催!!

破綻が明らかになり、一〇年目を迎えるようになっている。この一年間を全力で闘おう」と訴えた。つづいて本部より布施副委員長があいさつに立ち、京葉線への輸送変更の現状やJRをめぐる状況などを述べながら、原則的な活動を積み重ねながら一年間闘おうと訴えた。  
執行部より、経過報告、議案、予算一括提起の後、質疑応答に入り、京葉線への輸送変更の問題や佐倉機関区の将来展望などについてが出され、本部より答弁が行なわれた。  
最後に新たな執行部を選出し、一年間の闘いの体制をうちかため、大会は終了した。

## 新執行体制

役職	氏名	職名
支部長	宮内正志	運転士
副	笠井清	運転士
書記長	田中龍美	車・技
執行委員	中台政幸	事務
	石川 稔	運転士
監査	大根洋一	車技主
会計	根本英治	車技主